

長期戦略:テーマ 「総合学園」の枠組み再構築

提出日 2021年 8月24日

担当部署

II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	柳屋常任理事(法人) (総務部)	実施計画の 担当部署	総務部
-----------------------	---------------------	---------------	-----

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
4-(1)-③ ランバス関係姉妹校との関係検討	2022 年度	2024 年度	必要なし	不要
内容 関西学院はマスターフィロソフィーとしてキリスト教主義にもとづく人間教育の徹底をあげている。これはキリスト教主義学校が共通に持つ課題であり、使命である。その意味で、他のキリスト教学校との連携を探ることは相互に有益、かつ有効な方策となる。中でも創立者ランバスのファミリーが礎を築いた広島女学院、啓明女学院、パルモア学院、聖和大学と関西学院は 1998 年 3 月に「ランバス関係姉妹校間協定」を結び、相互に連帯して将来に向けての諸方策を検討し合うことに同意して今日に至っている。 中でも啓明学院とは、2001 年 4 月 26 日に「学校法人啓明学院と学校法人関西学院の提携に関する協定」を結んでおり、当協定に基づいて、2008 年度以降、関西学院大学は啓明学院から推薦入学生を受け入れている。関西学院の建学の精神を理解し、体現することのできる中高生を大学に迎えることで、幹の太い総合学園が実現する。そこで「総合学園」の枠組みの再構築にあたり、高大接続以外の諸課題について、啓明学院等との関係を改めて検討する。 検討にあたっては、高大接続センターによる高大連携支援および推薦入学制度の検討を考慮する。				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	啓明学院との関係の再確認	関係を再確認できたか		
指標2	「ランバス関係姉妹校間協定」の確認状況	「ランバス関係姉妹校間協定」の維持・破棄・深化等の方針に結論が出たかどうか		
指標3				

目標1<指標1>啓明学院との関係の再確認

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
目標	調査・分析・検討	関係の再確認 (必要に応じて「学校法人 啓明学院と学校法人関 西学院の提携に関する 協定」見直し)	(必要に応じて新協定発 効)	—		
実績						

目標2<指標2>「ランバス関係姉妹校間協定」の確認状況

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
目標	調査・分析・検討	方針確定 (必要に応じて「ランバス 関係姉妹校間協定」見直 し)	(必要に応じて新協定発 効)	—		
実績						

目標3<指標3>

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
目標						
実績						

2. ロードマップ

		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
「ランバス関係姉妹校間協定」と「学校法人啓明学院と学校法人関西学院の提携に関する協定」の歴史的経緯と意義の再確認	策定段階				調査・分析・検討	調査・分析・方針確定 (必要に応じて協定見直し)
	2022 年 3 月末段階	—	—	—	—	—
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	-
	策定段階	必要に応じて新協定発効				
	2022 年 3 月末段階	—				
		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	策定段階					
	2022 年 3 月末段階					
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	-
	策定段階					
	2022 年 3 月末段階					

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】

非公開

経費 単位:万円	2022年度 承認	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	左記以降
----------	-----------	--------	--------	--------	--------	--------	------

非公開

人員・人件費 単位:万円	2022年度 承認	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	左記以降
--------------	-----------	--------	--------	--------	--------	--------	------

非公開

4. 進捗状況・得られた成果

2019年度	—
2020年度	—
2021年度	
2022年度	
2023年度	
2024年度	

5. 今後の課題及び方向性

2019年度	—
2020年度	<p>(2020年度現在の状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パルモア学院（ランバス関係姉妹校）について：2020年度末閉校後の関係について整理を行っていく。 ・啓明学院について：院長・常任理事他複数名の関学現職者が理事（2名）や評議員（3名）に就任している。このような役員就任や講師派遣等による人的交流など、高大接続以外の関係強化を検討していく。
2021年度	パルモア学院の閉校に伴い、今後のランバス関係姉妹校間協定のあり方について検討する必要がある。
2022年度	
2023年度	
2024年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2018年度	—
2019年度	—
2020年度	—
2021年度	—
2022年度	
2023年度	

7. Total Review の結果

【フェーズⅠ(2019～2021)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズⅡに向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
<ul style="list-style-type: none"> ・ランバス関係姉妹校は、本学を除けば、啓明学院、広島女学院のみとなっている。 ・新たに2021年4月から総務部教育連携課が設置されることに伴い、実施計画の継続可否も含め、再検討する。 	継続 ・ 廃止	・同左

【フェーズⅡ(2022～2024)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズⅡに向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	